

# 草原を守る



阿蘇の人々は、自分たちの暮らしの中で昔から草原とかわって来ました。

草原とともにある暮らしは、先祖から次の世代へと、長年にわたって受けつがれてきたものです。それは同時に、草原を守ることにつながっているのです。

ところが、今、草原を守ることが難しくなって、草原が減っています。阿蘇の人たちは、そんな草原について、どう考えているのでしょうか。



みんなは、草原にかかわっている人たちに話を聞いてみました。

## 牧場で働く鎌倉さん



阿蘇の草原を守るためには、ちく産業をさかんにしなければなりません。最近は、農家の後をつぐ人が減っています。若い人が働きたくなくなるような工夫をしていく必要があります。そして、牛の数を増やしていきたいです。



新しい工夫のひとつとして、菊池などから牛をあずかって放牧し、草原を利用しています。

## 野焼きボランティアの舩尾さん



草原を守るために、何かしたいと思い、野焼きのボランティア活動に参加しました。

草原を守っていく作業は、きつくて大変ですが、もっとたくさんの方が草原のことを知って、仲間に加わってくれればと思います。



ボランティアには、熊本市や福岡市など都市の人たちがたくさん参加しています。

## 牛を飼う井さん



私が草刈りをする草原では、春から秋までいろいろな草花がさき、いつも心をなごませてくれます。地元の子どもたちに、私たちの仕事の様子や、たくさん草花や動物が育つ草原を見てもらい、阿蘇の草原のすばらしさを知ってもらいたいですね。



阿蘇の草原には、なんと600種類もの植物が見られます。

## 農家の岩下さん



草原の草を肥料にした野菜を育て、草原再生シールをはって売っています。草を利用することが、草原を守ることにつながります。おいしい野菜ををたくさんの人に食べてもらいたいです。



草原再生シールをはると、草の肥料で育った野菜であることがひと目でわかります。



草原を守るために私たちに何ができることはないかな。



まさかずくのおじいちゃんにたのんで、草刈りの手伝いをさせてもらおうか。



それはいいね。よし、がんばるぞ。

草原を守るためにできること。  
みんなと  
いっしょに  
あなたも  
考えてみよう。

考えられることを書いてみよう。

メモ

---



---



---



---



---

